

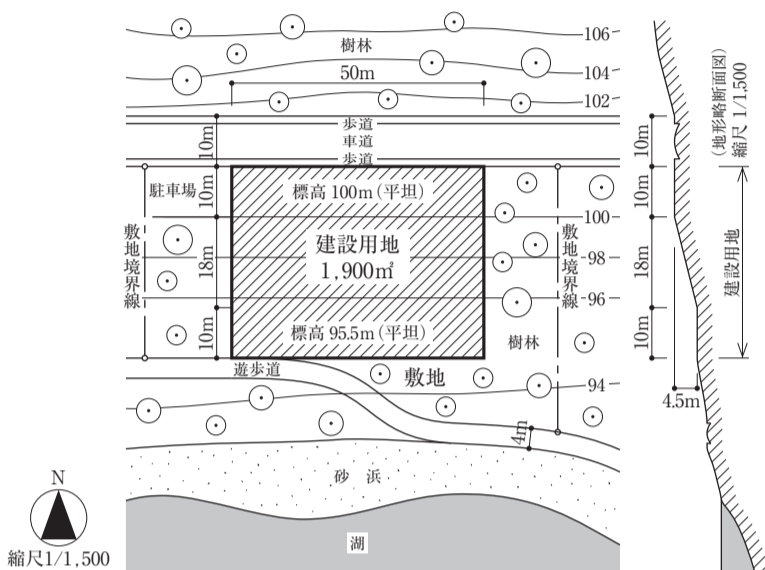
設計課題 小規模なリゾートホテル

I. 設計条件

この課題は、周辺にレジャー施設及びスポーツ施設が点在する湖畔の景勝地にリゾートホテルを計画するものである。本施設は、高齢者や車いす使用者の円滑な利用に配慮するとともに、周囲の景観を眺望として積極的に取り入れた計画とする。また、計画に当たっては、環境負荷低減のため、自然エネルギーを利用し、快適な室内環境が得られるような設計手法(パッシブデザイン)を、積極的に取り入れるものとする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。この敷地のうちリゾートホテルの建設可能な建設用地は斜線で示した部分である。
- 敷地は、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあるが、景観保全のため建築物に関して次の制限がある。
 - 建ぺい率の限度は70%、容積率の限度は200%である。
 - 主要な屋根は、勾配屋根とする。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。また、井水の利用が可能な地域とする。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。また、敷地の造成は最小限に留めるものとする。
- 湖の氾濫、地下水及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造、階数等
構造種別は自由とし、地下1階、地上2階建ての1棟の建築物とする。この課題においての階の取り扱いは、敷地の標高100mの部分に直近の階を地上1階とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、2,400㎡以上、2,800㎡以下とする。この課題の床面積の算定においては、ピロティ、バルコニー、屋外階段及び塔屋は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室
下表の室は、全て計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
宿泊部門	客室A (ツインルーム)	・10室(約30㎡/1室)設ける。 ・ベッド、テーブル、椅子等を設ける。	計約300㎡
	客室B (スイートルーム)	・4室(約50㎡/1室)設ける。 ・和室8畳(押入れ付)の続き間を設ける。 ・ベッド、テーブル、椅子等を設ける。	計約200㎡
	客室C (和室)	・2室(15畳/1室)設ける。 ・踏込、押入れ、床の間を設ける。	適宜
	洗濯・乾燥室		適宜
	自販機コーナー		適宜
	共用部門	玄関ホール・ロビー	・風除室を設ける。 ・空間の連続性を考慮した吹抜け(50㎡以上)を設ける。
観光情報コーナー		・地域の観光情報の案内を行う	約40㎡
物産展示・販売コーナー		・地域の特産品の展示・販売を行う	約60㎡
ラウンジ		・眺望に配慮する。 ・明るく開放的な空間とする。	適宜
レストラン		・40人程度が利用できるようにする。 ・外部からも直接アプローチできるようにする。 ・屋外パティースペースと一体的に利用できるようにする。 ・テーブル、椅子等を設ける。 ・厨房を設ける。	適宜
イベントルーム		・2室に分割して、それぞれ20人程度が利用できるようにする。 ・パーティー、セミナー、サークル活動、ワークショップ等、各種イベントに利用する。	適宜
パントリー		・イベントルーム及びレストラン厨房との動線に配慮する。 ・小荷物専用昇降機を設けてもよい。	適宜
大浴場		・男性用、女性用、それぞれ10人程度が同時に入浴できるものとし、脱衣室に洗面コーナーを設ける。 ・眺望に配慮する。	適宜
休憩室		・和室12畳以上とする。 ・眺望に配慮する。	適宜
娯楽コーナー		・機器を使った軽運動やゲーム等を行う。 ・カラオケルーム(2室)を設ける。	約100㎡
管理部門	フロント	・カウンター、クロックを設ける。	適宜
	事務室	・5人程度が利用できるようにする。 ・職員の仮眠スペースを設ける。	適宜
	厨房事務室	・レストラン従業員の休憩室を兼ねる。	約20㎡
	従業員控室	・男性用、女性用として、それぞれ1室設ける。	計約50㎡
	リネン室		適宜
備蓄倉庫		約30㎡	
設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。	適宜	
・便所、エレベーター、通用口、倉庫、ゴミ置場については、適切に計画する。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

3. その他の施設等

- 屋外パティースペース(食事やパーティー等多目的に利用する)は、ホテル利用者が使用するものとして、次のとおり計画する。
 - 地上又は1階の屋上に設けるものとし、まとまったスペース(直径6m以上の円が1つ入るスペースとする)で150㎡(ピロティ、上部に屋根等がある部分を含めてもよい。)以上とする。
 - 一部にカフェテラスを設け、レストランとの動線に配慮する。
 - レストランへのアプローチと兼用してもよい。
 - 車いす使用者に配慮して、設置階床レベルに計画する。
 - 流し台、テーブル、椅子等を設ける。
- 車回し(自動車を建築物のエントランス前まで導く道路をいう。)及び車寄(自せ動車を寄せて人が乗降するために、エントランス前に造られた屋根又は庇の付いた場所をいう。)を設ける。
- 駐車場は、地上に平面駐車とし、送迎用(マイクロバス1台当たり3.5m×7.5m)として1台分、車いす使用者用として1台分、サービス用として1台分を設ける。なお、施設利用者及び職員用の駐車場は、敷地の西側にある専用駐車場を利用するものとする。
- (1)~(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
 - 各部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
 - 建築物内の空間構成においては、建設用地内の高低差を有効に活用した計画とする。
 - 北側と南側に広がる良好な景観を、眺望として積極的に取り込んだ計画とする。
 - 敷地の周辺環境に配慮するとともに、勾配屋根の形状を活かした室内空間とする。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
 - 基礎構造、構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
 - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設ける。
 - 太陽熱、地中熱、井水、植栽等を利用するなどし、環境負荷低減に配慮する。
 - 自然採光及び自然換気を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射の遮蔽にも配慮する。

II. 要求図書

答案用紙I及び答案用紙IIの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Iに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。なお、各図面には、必要に応じ、計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 北側配置図兼1階平面図 1/200	① 1階平面図は、敷地の北側の配置図を兼ねるものとする。 ② 地下1階平面図は、南側(上記①以外の部分)の配置図を兼ねるものとする。 ③ 各平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(スパン割り及び床面積等の計算に必要な程度) ロ. 室名等(客室の表示は、下記⑥ハ.による。) ハ. 要求室の床面積(専用面積を記入する。) ニ. 設備シャフト(パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS))の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース ヘ. 断面図の切断位置 ト. 要求室の特記事項に記載されている室、スペース、什器等 チ. 直下階の屋根、ひさし等となる部分
(2) 南側配置図兼地下1階平面図 1/200	④ 北側配置図兼1階平面図及び南側配置図兼地下1階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 屋外パティースペースの面積、テーブル、いす等 ハ. 車回し、車寄せ、駐車場(台数及び出入口を明示する。) ニ. 通路、植栽等
(3) 2階平面図 1/200	⑤ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離及び重複区間の距離 ⑥ 客室については、次のものを図示する。 イ. 客室A、客室B、客室Cそれぞれについて、代表的な1室の室内プラン ロ. 各客室の出入口 ハ. 客室Aの室名(A1からA10)、客室Bの室名(B1からB4)、客室Cの室名(C1からC2)
(4) 断面図 1/200	① 切断位置は、南北方向とし、玄関ホール・ロビーの吹抜けを含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 採用した環境負荷低減手法について、必要に応じ、簡潔な文章や矢印等により明示する。 ③ 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ④ 北側道路(標高100m)からの塔屋を除く建築物の高さ(平均G.Lは求めなくてよい。)、階高、天井高、地上1階及び地下1階の床高及び主要な室名を記入する。 ⑤ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。

2. 面積表(答案用紙Iに記入)

各階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙IIに記入)

- 建築計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - レストラン、イベントルーム及び大浴場の計画について、その位置とした理由及び動線計画において考慮したこと
 - 玄関ホール・ロビーの計画及び吹抜けを活かした空間構成について考慮したこと
- 構造計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物に設定した目標耐震性能(地震力の程度と建築物の状態)と基礎構造の計画上配慮したこと
 - 上部構造の構造種別、架構形式、スパン割り及び主要な部材の断面寸法について考慮したこと
 - 勾配屋根の架構計画について、その特徴及び特に配慮したこと
- 設備計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 空調設備、給排水衛生設備及び電気設備における光熱費の削減のための「設備方式・手法」及び「その具体的な削減効果」について四つ記述すること
 - 設備スペース及び設備シャフトの配置計画について考慮したこと
 - パッシブデザインを積極的に取り入れた室内空間の計画及び環境負荷低減について考慮したこと